

平成27, 28年度 土木学会第4回複合構造委員会 議事録

1. 日 時：平成28年12月16日（金）10:00～12:40
2. 場 所：主婦会館プラザエフ 会議室クラルテ
3. 出席者：伊藤顧問，奥井委員長，西崎副委員長，滝本幹事長，上田委員，大垣委員，大西委員，大山(理)委員，街道委員(代理出席：水野氏)，加藤委員，菅野委員，鬼頭委員，小林委員，近藤委員，玉井委員，趙委員，利根川委員，中島委員，古内委員，松本委員，三ツ木委員，山本委員，横田委員，渡辺委員，大久保幹事，斉藤(成)幹事，齋藤(隆)幹事，下村幹事，平幹事，広瀬幹事，牧幹事，松本幹事，溝江幹事
(敬称略，計 33 名)

4. 配付資料：

- 委4-0 議事次第
- 委4-1 委員名簿
- 委4-2 平成27・28年度 第3回複合構造委員会 議事録(案)
- 委4-3 メール審議結果(平成28年度 複合構造委員会 予算案)
- 委4-4 「コンクリート充填鋼管部材の活用に関する調査研究小委員会」の設置
- 委4-5 平成28年度年間スケジュール
- 委4-6-1 平成27・28年度 第8回複合構造委員会幹事会議事録
- 委4-6-2 平成27・28年度 第9回複合構造委員会幹事会議事録
- 委4-6-3 平成27・28年度 第10回複合構造委員会幹事会議事録(案)
- 委4-7 平成28年度予算の執行状況
- 委4-8-1 平成28年度全国大会(共通セッション)報告
- 委4-8-2 平成28年度全国大会(研究討論会)報告
- 委4-9 第6回FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウム報告
- 委4-10 土木学会論文集A1特集号：複合構造
- 委4-11 平成29年度事業計画および予算要求調書
- 委4-12-1 平成29年度「重点研究課題(研究助成金)」募集について
- 委4-12-2 平成29年度重点研究課題案
- 委4-13 第1回日中ジョイントシンポジウム報告
- 委4-14-1 出版関連報告
- 委4-14-2 平成28年度 廃棄損明細書
- 委4-15-0 複合構造委員会の小委員会一覧
- 委4-15-1 H101 複合構造標準示方書小委員会

- 委4-15-2 H103 複合構造の基礎に関する書籍作成小委員会生
委4-15-3 H106 FRPによる補修・補強指針作成小委員会
委4-15-4 H150 各種ずれ止めの性能設計調査研究小委員会
委4-15-5 H212 複合構造物の耐荷メカニズム研究小委員会
委4-15-6 H213 構造物の更新・改築技術に関する研究小委員会
委4-15-7 H214 維持管理を考慮した複合構造の防水・排水研究小委員会
委4-15-8 H215 複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープ研究小委員会
委4-15-9 H216 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会
委4-16 複合構造委員会設立10周年記念式典の開催
委4-17 平成29・30年度 委員長選挙結果

5. 議事内容：

(1) 委員長挨拶

奥井委員長より挨拶があった。

(2) 第3回複合構造委員会 議事録(案)の確認(委4-2)

滝本幹事長(松本幹事の代理)より資料に従い議事録(案)の紹介があった。内容について、了承された。

【審議事項】

(3) メール審議結果の確認(委4-3)

滝本幹事長より、予算案がメール審議により承認されたことが報告された。拡充支援金などによる合計206.8万円を資料の通り分配する計画について確認した。

(4) 「コンクリート充填鋼管部材の活用に関する調査研究小委員会」の設置(委4-4)

鬼頭委員より、資料に沿って説明があり、設立が承認された。

なお、以下の意見が出された。

- ・(意見)非常に有益であると思われるので、維持管理などを含めて検討してほしい。
- ・(意見)幹事長は未定である。適当な人材があれば推薦も受け付けたい。

(5) その他(委4-5)

滝本幹事長より、年間スケジュールについて説明があった。

【報告事項】

(6) 幹事会報告(委4-6-1～委4-6-3)

滝本幹事長より、今年度の第8回～第10回の幹事会について議事録を紹介した。

なお、議事内容に関連して、以下の意見が出された。

- ・(意見)10周年記念式典の状況を土木学会誌で報告することを考えてはどうか？

(回答) 掲載されるまで時間がかかるため、編集委員会に相談して早めに対応する。

(7) 平成28年度予算の執行状況 (委4-7)

滝本幹事長より、今年度予算の執行状況の説明があった。現在の支出合計は27万8千円であり、論文集の校正費などの支出予定を差し引いても余りが出るため、各小委員会は残り3カ月で有効に執行するよう依頼があった。なお、委員長選挙の発送通信費は推薦選考小委員会の2万円の方に回すこととする。また、複合シンポの現場見学バス代は幹事会予算からの支出として、複合シンポの予算としては残額があると考えて頂きたい。

なお、以下の質疑があった。

- ・ (質問) 論文集の編集小委員会は、2月の委員会費用も支出予定である。論文集の校正費の請求がいつ頃になるかの情報はるか？

(回答) 遅れており、1月頃になると思われる。

(8) 平成28年度全国大会 (研究討論会、共通セッション) 報告 (委4-8-1, 委4-8-2)

松本幹事、齋藤幹事より、資料に沿って説明があった。共通セッションは、昨年度と異なり平行開催ではなく1つの会場で開催することができた。トータルの参加人数が減っているが、各セッションの発表数が増えたなどの理由からと思われる。

(9) 第6回FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウム報告 (委4-9)

大久保幹事より、資料に沿って説明があり、優秀講演者3名の選定について報告された。

今年度は初めて土木学会ではなく名古屋大学で開催したが、これまでと同じレベルの講演数と参加者数であった。2日目の午後は東レ工場とFRP歩道橋の2箇所の見学会を実施した。来年度は建築学会の担当で複合・合成構造シンポの開催が予定されている。

(10) 土木学会論文集A1特集号：複合構造 (委4-10)

牧幹事より、資料に沿って進捗状況の説明があった。第4号では招待論文として、金沢工業大学の鶴沢先生にCOIについての執筆を依頼している。委員会報告はH213委員会からの報告を予定している。

(11) 平成29年度事業計画および予算要求調書 (委4-11-1, 委4-11-2)

滝本幹事長より、資料に沿って説明があった。次年度は3つの行事 (複合シンポ, H212・H213講習会) が予定されている。複合シンポについては建築学会との調整が終わってから予算要求を提出する。

(12) 平成28年度重点研究課題の募集 (委4-12-1, 委4-12-2)

滝本幹事長、松本幹事より資料に沿って説明があった。H24年以降複合構造委員会からの提案課題は採択されていないため、例年より早めに幹事会で事前検討を行った結果、「教育」に関する研究課題を提案する予定である。留学生プログラムは近年充実してきているが、実務に興

味ある学生が増えているため、土木学会の主導で産学が協力する研究課題とすることで、より良い対応と展開が得られると考えている。

なお、以下の質疑があった。

- ・（質問）他の委員会との共同提案とする場合、橋梁と考えると相手は限定されるが、どのように考えているのか？

（回答）昨年までの流れをみると、内容が分野横断的で、他の委員会からの協力を得られる体制であれば、単独の委員会の提案でも採択される可能性があると考えている。

- ・（質問）構造工学委員会は留学生向けのセミナーを実施しており、コンクリート委員会も国際プログラムにも取り組んでいるため、実務などに関係する内容とすれば提案に乗ってくれる可能性ある。協力を打診すべきである。

（回答）複合委員会と兼任している委員を通して打診することを考える。

- ・（質問）留学生からのニーズはどのような状況か？本当に設計実務の経験を求めているか？

（回答）個人差はあるが、以前は自国に帰って教職に就く留学生が多かったことに対して、最近では設計実務に対するリクエストは多いと聞いている。

（回答）JDSの実務者として来ている留学生などには役人もいて、日本で実務を学ぶつもりで来ている。必ずしも大学の先生を輩出しているだけではない。

（回答）大学の講義体系で図学も製図もない状況で、設計図面を教材とすることは留学生でなくても対応ができるかどうかという問題がある。土木学会として実務教育を語るのであれば国内外を問わないフォローも必要であり、効果的と考えられる。

（回答）他にも意見があれば早めに教えて頂きたい。

(13)第1回日中ジョイントシンポジウム報告（委4-13）

奥井委員長より、資料に沿って説明があった。上田委員からは是非2回目も実施して欲しいとの要望があった。

(14)出版関係報告（委4-14-1, 委4-14-2）

大久保幹事、滝本幹事長より、資料に沿って説明があった。レポート07～12などのFRP関連の販売促進に協力して欲しいことが補足された。

(15)小委員会報告（委4-15-0～委1-15-9）

(H101) 複合構造標準示方書小委員会

渡辺小委員会委員長より、資料に沿って説明があった。

16年度中にコアメンバーで改定項目の洗い出しを行い、必要に応じて新しい委員をお願いするかもしれない。10月頃に全体委員会を開く予定である。

(H103) 複合構造の基礎に関する書籍作成小委員会

大山小委員会委員長より、資料に沿って説明があった。

(H106) FRPによる構造物の補修・補強指針作成小委員会

小林小委員会幹事長より、資料に沿って説明があった。

(H150) 各種ずれ止めの性能設計調査研究小委員会

古内小委員会委員長より、資料に沿って説明があった。

(H212) 複合構造物の耐荷メカニズム研究小委員会

牧連絡幹事より、資料に沿って説明があった。

今後、複合構造レポートをまとめる予定である。

(H213) 構造物の更新・改築技術に関する研究小委員会

滝本小委員会連絡幹事より資料に沿って説明があった。

講習会を7/21に開催予定である。

(H214) 維持管理を考慮した複合構造の防水・排水に関する調査研究小委員会

大西小委員会委員長より資料に沿って説明があった。

2期の活動を行う予定である。

(H215) 複合構造物におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する研究小委員会

下村小委員会委員長より、資料に沿って説明があった。

(H216) 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会

松本小委員会連絡幹事より資料に沿って説明があった。

なお、全体を通して以下の要望があった。

- ・（要望）委4-15-0の一覧表で、レポートなどの成果に誤記が多いため修正すべきである。
また、H212委員会は複合シンポでパネルディスカッションも実施しているので、それを成果に加えて欲しい

(16) 終了小委員会の活動成果報告（委4-16）

(H181) 合成床版設計・施工指針作成小委員会

大山小委員会幹事長より、PPTを用いて報告があった。

なお、以下の質疑があった。

- ・（提案）鋼構造委員会などへプレゼン・PRの機会を設けてはどうか？
- ・（質問）許容応力度法の成果と性能照査設計法の比較結果はどうだったのか？

（回答）許容応力度法で設計した結果を、性能照査設計法で照査した結果、十分な安全率を有するという結果が得られている。

(17) 複合構造委員会設立10周年記念式典の開催（委4-16）

大垣実行委員会委員長より、資料に沿って説明があった。開会挨拶の栗田顧問が急きょ欠席となり、上田委員が代理で行う。懇親会の開始時間は記載ミスであり17時からである。

また、パネルディスカッションに関しては牧幹事より資料に沿って説明があった。池田幹事が欠席となったため、PPTは牧幹事が代理発表する。

- ・（質問）配布資料のPDFデータはもらえるか？
- （回答）対応は幹事会で検討する。

(18) 平成29・30年度 委員長選挙結果（委4-17）

滝本幹事長より、信任投票結果について説明があり、西崎副委員長の次期委員長への推薦が信任された。なお、資料には記載ミスがあり無効票は1票が正しい（記入欄に指定外の◎印が記載されていたため）。

西崎次期委員長候補から挨拶があった。

(19) 閉会の挨拶

奥井委員長より閉会の挨拶があった。

以上。
(記録・文責：齋藤隆)